

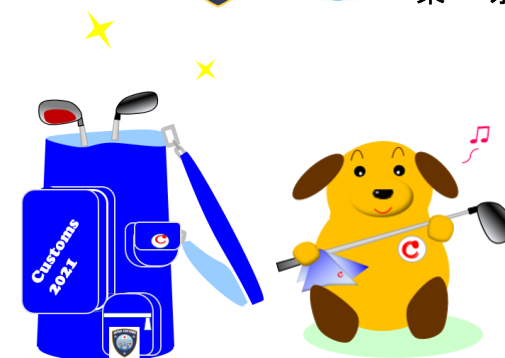
特集

ゴルフクラブの輸入



令和3年12月16日
東京税関

- ★ゴルフ人気でゴルフクラブの輸入が増加！
- ★2021年1月～10月の輸入数量は前年同期比の約1.6倍！輸入金額は約1.5倍！
- ★国別シェアは中国が第1位！
- ★港別シェアは東京港が第1位！



はじめに

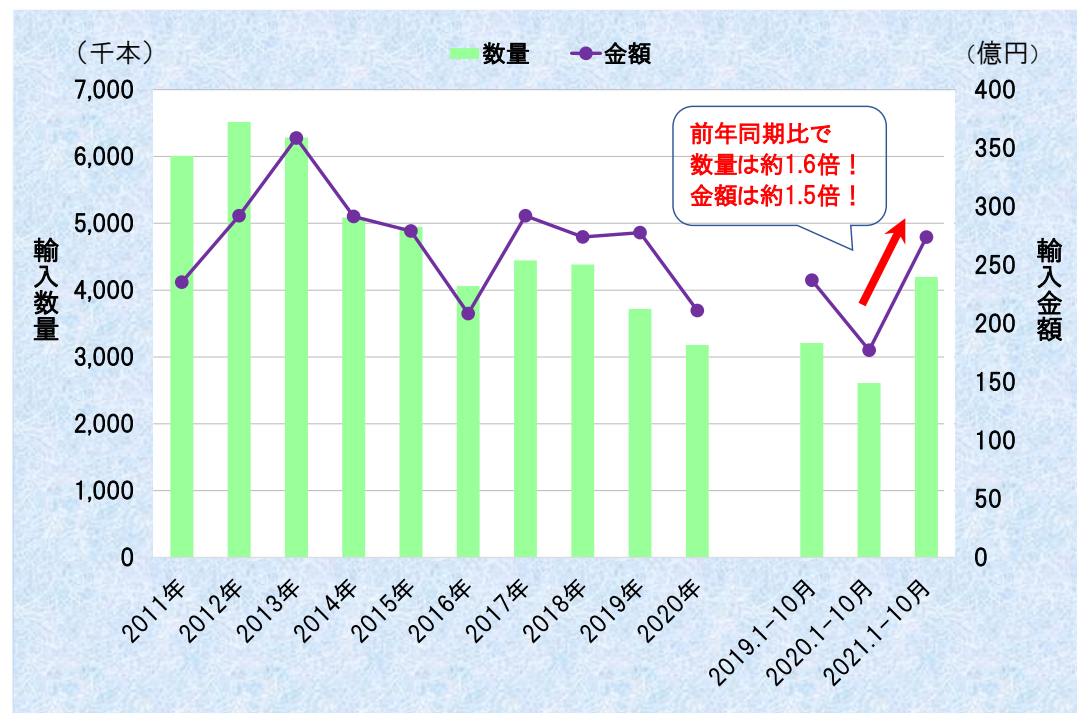
コロナ禍でアウトドアレジャーが改めて注目されている中で、ゴルフの人気も高まっているようです。屋外で三密(密閉・密集・密接)を避けて体を動かすことができるため、新たにゴルフを始める人が増えているといわれています。今回は、ゴルフ人気を背景に最近輸入が増えているゴルフクラブをとりあげます。

輸入動向

全国におけるゴルフクラブの輸入の推移(図1)をみると、2020年までは、前年より増加した年があるものの、全体的には減少傾向にありました。しかし、2021年1月～10月の輸入実績は、数量が419万9,000本で、前年同期比約1.6倍の増加に転じています。これは、コロナ禍前の2019年1年間の輸入実績をすでに超える伸びです。また、金額も大きく伸びており、2021年1月～10月の金額は273億8,200万円で、前年同期比約1.5倍に達しています。

本特集の「ゴルフクラブ」は、統計品目番号9506.31-000「ゴルフクラブ(完成品に限る)」に分類されるものです。
※2021年10月分は9桁速報値です。

(図1)ゴルフクラブの輸入推移



月別動向

下の図2は、2018年1月～2021年10月の輸入数量の月別推移です。この期間においては、2020年1月が最多でしたが、翌月2月には激減しました。例年1月は輸入が多く、反動で2月は減少する傾向が見られるところですが、2020年2月は、新型コロナウイルス感染拡大によるサプライチェーンの停滞が影響して、落ち込みが特に大きくなっています。

それ以前の2020年1月までの推移をみると、毎年1月が大きく増えている他、4月や8月などにも増えていることがわかります。

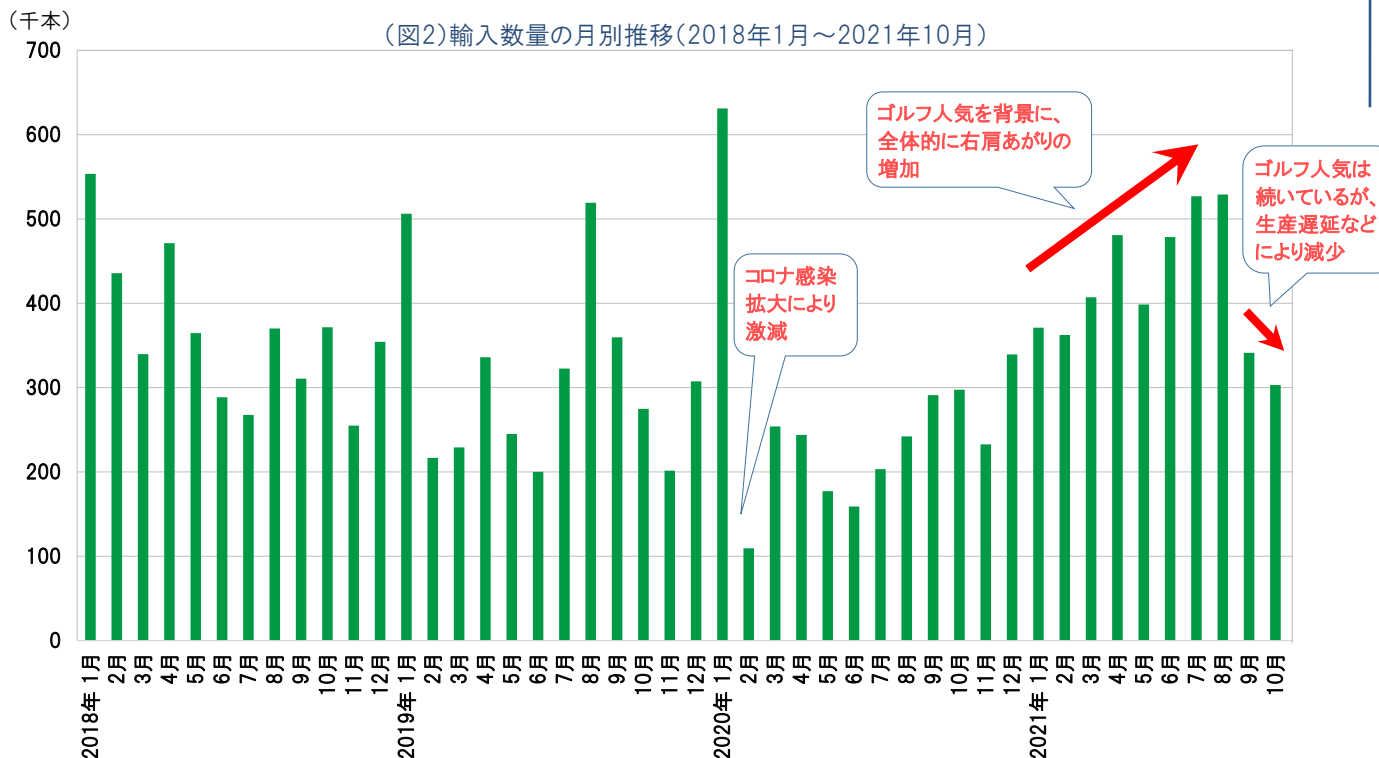
業界によると、これらの月では、新作の発売や国内のゴルフシーズンに向けてゴルフクラブの輸入が増加する傾向があるとのこと。特に1月は、海外メーカーの新作が春に発売されることが多いため、大きく増えるといいます。

2020年2月以降の動きに目を向けると、コロナ禍の影響が輸入数量に表れています。2021年1月は例年と異なり、輸入数量が急増していません。これは、春の新作発売はあったものの、部材不足などによる製造遅延や物流の混乱を受けて、輸入時期が分散したことが背景にあるようです。

また、業界は、2021年8月にかけての輸入増加の背景には、ゴルフ人気の高まりを受けた需要増加があるとみています。第1回緊急事態宣言明けの2020年夏頃からゴルフの人気の高まりははじめ、しばらくプレーを休んでいた既存ゴルファーやそれまでゴルフをしていなかった若年層が加わって、ゴルフ人口が増加していると言われていました。

業界によると、初心者向けのスターターセットなどの販売が好調とのことで、右肩あがりの輸入増加は、ゴルフ人口の増加とも関係していると考えられるでしょう。

2021年9月と10月は、2カ月連続の減少となっています。業界の見解では、ゴルフ人気は変わらず続いているものの、ゴルフクラブの需要が減る冬期の直前期であることや、製造拠点多い中国での部材不足による製造遅延やベトナムでの長期のロックダウン、生産国から日本への輸送遅延などの要因が重なって、全体的に輸入が減少しているとのこと。

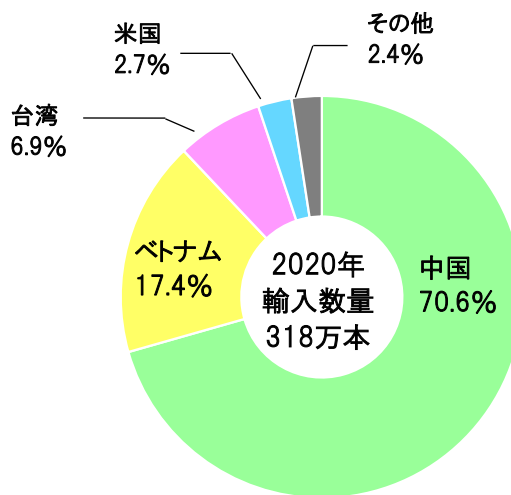


国別動向

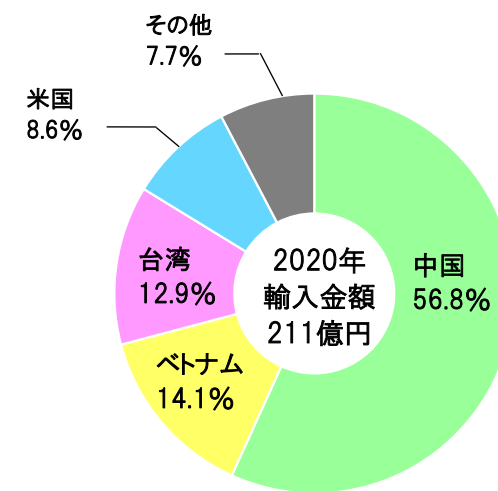
全国の2020年の国別輸入実績は、数量・金額ともに中国、ベトナム、台湾、米国の順となっており、中国とベトナムの2カ国で、数量の88.0%、金額の70.9%を占めています。

中国の占める割合が大きいことから、中国における新型コロナウイルス感染拡大による物流の停滞を受け、2020年2月の輸入数量が大きく減少したと考えられます。

(図3)2020年国別輸入数量シェア



(図4)2020年国別輸入金額シェア

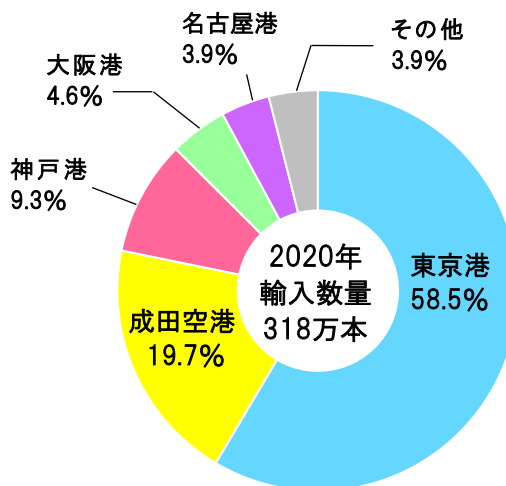


港別動向

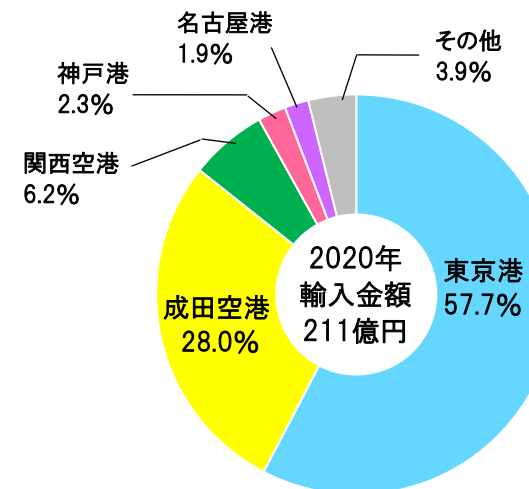
2020年の港別の輸入実績は、数量・金額ともに第1位東京港、第2位成田空港となっており、これら2港で全体の数量の78.2%、金額の85.7%を占めています。

東京港と成田空港の割合が大きいのは、業界によると、海外ゴルフメーカーの倉庫の多くが、一大消費地である首都圏に所在しているためとのことです。

(図5)2020年港別輸入数量シェア



(図6)2020年港別輸入金額シェア



全国の輸入数量・金額推移(年別)

(単位 数量:千本、金額:億円)

年月	数量		金額	
		前年比		前年比
2011年	6,009	76.2%	235.3	75.6%
2012年	6,517	108.5%	292.1	124.1%
2013年	6,283	96.4%	358.7	122.8%
2014年	5,088	81.0%	291.5	81.3%
2015年	4,947	97.2%	279.1	95.7%
2016年	4,061	82.1%	208.5	74.7%
2017年	4,446	109.5%	292.1	140.1%
2018年	4,382	98.6%	274.1	93.8%
2019年	3,718	84.8%	277.6	101.3%
2020年	3,180	85.5%	211.1	76.0%
2019.1-10月	3,209	85.1%	237.0	102.9%
2020.1-10月	2,608	81.3%	177.1	74.7%
2021.1-10月	4,199	161.0%	273.8	154.6%

全国の輸入数量・金額推移(月別)

(単位 数量:千本、金額:億円)

年月	数量	金額	年月	数量	金額
2018年 1月	553	39.0	2020年 1月	631	46.5
2月	436	31.8	2月	109	10.2
3月	340	23.7	3月	254	20.6
4月	471	25.1	4月	244	16.5
5月	365	23.4	5月	177	9.0
6月	289	15.9	6月	159	9.7
7月	268	16.5	7月	203	13.3
8月	370	18.6	8月	242	15.5
9月	311	16.4	9月	291	19.9
10月	372	19.9	10月	298	15.9
11月	255	13.8	11月	233	12.2
12月	354	30.1	12月	339	21.8
2019年 1月	506	62.9	2021年 1月	371	26.4
2月	217	21.6	2月	362	27.7
3月	229	17.9	3月	407	29.0
4月	336	19.3	4月	481	31.5
5月	245	16.0	5月	399	26.1
6月	200	13.3	6月	479	33.4
7月	323	19.6	7月	527	30.7
8月	519	31.0	8月	529	33.4
9月	360	21.2	9月	341	18.2
10月	275	14.1	10月	303	17.4
11月	201	13.5			
12月	307	27.2			

2020年国別輸入数量

(単位:千本)

国・地域	数量	構成比
中国	2,245	70.6%
ベトナム	552	17.4%
台湾	220	6.9%
米国	86	2.7%
その他	77	2.4%
合計	3,180	100.0%

2020年国別輸入金額

(単位:億円)

国・地域	金額	構成比
中国	119.9	56.8%
ベトナム	29.8	14.1%
台湾	27.2	12.9%
米国	18.1	8.6%
その他	16.2	7.7%
合計	211.1	100.0%

2020年港別輸入数量

(単位:千本)

港	数量	構成比
東京港	1,861	58.5%
成田空港	626	19.7%
神戸港	295	9.3%
大阪港	148	4.6%
名古屋港	125	3.9%
その他	126	3.9%
合計	3,180	100.0%

2020年港別輸入金額

(単位:億円)

港	金額	構成比
東京港	121.8	57.7%
成田空港	59.1	28.0%
関西空港	13.2	6.2%
神戸港	4.8	2.3%
名古屋港	4.1	1.9%
その他	8.1	3.9%
合計	211.1	100.0%



本資料を引用する場合、東京税関の資料による旨を注記して下さい。

本資料に関するお問合せは以下へお願いします。

東京税関 調査部 調査統計課 TEL:03-3599-6385

貿易統計の数値はインターネットでも検索できます。

財務省貿易統計

検索



東京税関

〒135-8615 東京都江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎
http://www.customs.go.jp/tokyo/